

# 第46期オセロ名人戦

主催: 一般社団法人日本オセロ連盟

後援: 株式会社オセロ, 株式会社メガハウス

協力: 日本オセロ連盟東海ブロック

**日時:** 2026年3月14日(土)、15日(日)

**場所:** ACT CITY浜松 〒430-7790 静岡県浜松市中央区板屋町111-1

ACT CITY浜松 コンgressセンター 3階

※3月14日(土)の小学生の部は、4階 43会議室になります。

## 開催部門:

小学生以下の部	3月14日(土)受付:12:30~13:00
マスター(40歳以上)、学生の部	3月14日(土)受付:11:30~12:00
名人戦	3月15日(日)受付:9:10~9:30

## タイムテーブル:

3月14日(土)

小学生以下の部

受付	12:30~13:00
開会式	13:10~13:20
1回戦	13:30~13:50
2回戦	14:00~14:20
3回戦	14:30~14:50
4回戦	15:00~15:20
決勝戦	15:30~16:00
表彰式	16:20~16:40

マスターの部・学生の部

受付	11:30~12:00
開会式	12:10~12:20
1回戦	12:30~13:10
2回戦	13:20~14:00
3回戦	14:10~14:50
4回戦	15:00~15:40
5回戦	15:50~16:30
決勝戦/順位戦	16:40~17:20
表彰式	17:30~18:00

3月15日(日)

名人戦

受付	9:10~9:30
開会式	9:35~9:50
1回戦	9:55~10:35
2回戦	10:45~11:25
3回戦	11:35~12:15
昼休憩	12:15~13:20
事務手続き時間	12:50~13:20
4回戦	13:25~14:05
5回戦	14:15~14:55
6回戦	15:05~15:45
7回戦/準決勝/順位戦	15:55~16:35
決勝戦/女子決勝	16:50~17:30
表彰式	17:40~18:00

※小学生以下の部、持ち時間各10分、決勝戦のみ各15分

※マスターの部・学生の部、持ち時間各20分

## 表彰および段位認定:

名人戦		マスター(40歳以上)の部		学生の部		小学生以下の部	
優勝	七段 メガハウス賞 長谷川五郎賞	優勝	五段 副賞 長谷川五郎賞	優勝	五段 副賞 長谷川五郎賞	優勝	三段 副賞 長谷川五郎賞
準優勝	六段/副賞	準優勝	四段/副賞	準優勝	四段/副賞	準優勝	二段/副賞
3位	六段/副賞	3位	三段/副賞	3位	三段/副賞	3位	初段/副賞
入賞	五段/副賞	5勝	三段	5勝	三段	4位以下の 級位認定は当日、 掲示致します。	
6勝	四段	4勝	二段	4勝	二段		
5勝	三段	3勝	初段	3勝	初段		
4勝	二段	2勝	1級	2勝	1級		

※名人以外の段位認定は有料です。

## その他:

1. 3月15日の女子トップを女流名人として表彰します。女流名人の決定方法は下記のとおりです。

- (1) 7回戦終了時点における、女子の上位2選手で女子決勝を行い勝った方を女流名人、負けた方を準女流名人とします。
- (2) 女子選手が準決勝に進出した場合は、女子決勝は実施しません。最終順位で女子最上位選手を女流名人とします。

2. 第19期王座戦は80名で開催します。

第51回全日本選手権等にて既に王座戦出場権を持っている方も踏まえ、今回名人戦では王座戦出場権を得られる方は下記のとおりです。

(1) 女流名人、準女流名人

(2) マスター(40歳以上)の部、学生の部、小学生以下の部、ベスト3

(3) 名人戦上位17位までの方。ただし第51回全日本選手権等にて既に王座戦出場権を持っている方、および上記??の方が上位17位に入った場合、18位以下の方の順位に割り当ていたします。なお出場権を持っている方が王座戦出場の申し込みをしない場合、同様の考え方で割り当ていたします。

3. WOC2026日本代表について

(1) 名人をWOC2026日本代表とします。(会員のみ)

(2) 女流名人は、第51回全日本選手権女子優勝者と、第19期王座戦の決勝戦と並行して世界代表決定戦を行い勝者をWOC2026日本代表とします。(会員のみ)ただし世界代表決定戦を辞退した場合は、世界代表決定戦参加の意思を日本オセロ連盟に伝えた者を代表とする。尚、両者とも王座戦の出場を辞退した場合は、女子世界代表の該当者は無いものとする。

(3) 海外選手/日本オセロ連盟非会員の方が優勝した場合、WOC2026の日本代表になれません。この場合第19期王座戦の上位者をWOC2026日本代表とします。優勝された方がWOC2026日本代表を辞退された場合も、同様に第19期王座戦の上位者をWOC2026日本代表とします。(会員のみ)

(4) WOC2026に、日本代表として出場される方には補助金を日本オセロ連盟より支給します。

(5) WOC2026が開催されなかった場合は、世界大会日本代表の権利はなくなります。

## ルール細則

### 石の色(先手が黒、後手が白)、引き分け勝ちの権利の決定

1. 石の色は試合前の伏せ石により決定する。伏せ石は、対局者のうちの段級位の上位者(同位または不明の場合は年長者)が石を1個盤上に水平に置いて隠し、下位者が「上が黒」または「上が白」と宣言する。正しく言い当てた場合、下位者は次のいずれかの権利を選択でき、上位者は選択されなかった方の権利を得る。

- ① 対局が32石対32石で終わった時の勝ちの権利。(これを「引き分け勝ち」と言い、「引き分け勝ち表示」を権利者の手元に置く。)
- ② 石の色を選ぶ権利。

正しく言い当てられなかった場合、上位者が①または②の権利を選択でき、下位者は選択されなかった方の権利を得る。

### 座席・競技時間・対局時計・着手

2. 原則としてすべての対局に対局時計を使用する。持ち時間は各20分持ちとする。持ち時間を使い果たした時点で時間切れ負けとする。

3. 対局時計は指定された位置に置くものとする。また、座席は黒を持つ対局者が選択できる。

4. 対局は、時計が静止した状態から、白を持つ対局者が自分のボタンを押すことにより開始となる。

5. 自分が着手権を持つ時間帯をその対局者の「手番」という。手番中は常に自分の時計を作動させておかなければならない。また、手番中、対局者は次の4つの行動をこの順序に従ってのみ取ることができる。

① 「直前の相手番に不正着手があった場合の指摘」

直前の相手番に不正着手があった場合は、自分の時計のボタンを押し、相手の手番に戻した上でその不正の内容を指摘し、相手に訂正させることができる。なお、不正着手とは、手番の間違い、自分の打つ石色の間違い、打てない箇所への着手、返し忘れ、返しすぎ、石のずれ、打てる箇所がある局面でのパスを指す。また、返し忘れ、返しすぎ、石のずれについて指摘する場合はどの石かまで指摘しなければならない。また、パスではないことについて指摘する場合は、打てる場所まで指摘しなければならない。

[不正着手に関して対局者双方の合意が得られない場合および指摘できない程度に大きい不正着手が行われた場合は時計を一旦止めて直ちに審判員を呼び審判員の指示に従わなければならない]

② 「打てる箇所がない場合のパスの宣言」

打てる箇所がない場合は、パスを宣言し、自分の時計のボタンを押さなければならない。

③ 「着手」

盤面の特定のマスに手または石で故意に触れた時点で、その着手が成立したものとみなされ、取り消し(いわゆる「待った」)は認められない。ただし、打てない箇所に触れた場合は、その着手は当然成立しない。

#### ④ 「石を返す」

着手によって挟んだ石をすべて返し、自分の時計のボタンを押して相手に手番を渡す。

6. 1回の着手において、石を打ち、挟んだ石を返して時計のボタンを押す一連の動作は、原則として片手で行うものとする。
7. 原則として、相手の手番中に盤面や時計などに触れてはいけない。また、対局中は、盤面や時計などに対する相手の視認等を妨げてはならない。
8. 対局者は、着手を完了するたびに、自分の時計のボタンを押さなければならない。また、最終手であっても着手完了後に時計のボタンを押さなければならない。
9. 最終手を打った側でない方の対局者は、最終手が不正着手であった場合は残り時間の多寡に関わらずそれを指摘できる。指摘方法は第5項①と同様の方式による。また、最終手が不正着手ではない場合、あるいは不正着手であった場合でも指摘しない場合は、すみやかに終局の宣言をしなければならない。なお、終局の挨拶や握手、時計を止めるなどの行為で終局の宣言の代替としてもよい。
10. 対局中のトラブルにより審判員を呼ぶ際は、相手に断わった上で、時計を一旦止めること。

#### 遅刻者の取り扱い

11. 所定の対局時刻になっても対局者が現れない場合、先着者は後に選択する石の色に係わらず、座席の位置を選択し、審判員の指示により自分の時計のボタンを押して、遅刻者の持ち時間を減らすものとする。
12. 遅刻者が到着したときは時計を一旦止めて、残り時間を持ち時間として対局する。ただし、遅刻者は残り時間の多少にかかわらず、不戦敗を選択できるものとする。不戦敗を選択した場合、試合結果はレーティングに算入しない。

#### 時間切れの取り扱い

13. 一方の対局者が終局前に時間切れとなり、もう一方の対局者の時間が残っていることが確認された場合は、時間切れしていない方の対局者の勝ちが決定する。時間切れは、相手の指摘または自己申告によって成立し、対局者以外の者はこれを指摘することができない。(ただし、双方が時間切れしている場合についてはこの限りでない。次項参照。)また、終局後であっても、最終手を打った側の対局者の時間切れに関しては、対局者双方が結果を確認し合意する前であれば、指摘または申告を行うことができる。
14. 対局者双方が気付かぬうちに双方が時間切れしていた場合は、引き分け勝ちの権利の保有者の勝利とする。ただし、この試合結果はレーティングには算入しない。

#### 勝敗の記録

15. 対戦カードは、終局後、勝者の勝敗欄に○を、敗者の勝敗欄に×を記入し、両対局者が記入内容を確認、署名をした上で、勝者が提出しなければならない。なお、勝敗の記入が逆になっていたことが提出後になって発覚しても、訂正は原則として認めない。

#### 障害者特別ルール

16. 身体にハンディキャップのある選手のために本ルールの例外を設けることがある。その際、競技場所、補助者の容認などは審判員の指示に従うものとする。

#### 審判員の権限と責務

17. 審判員は本ルールに規定なき事態の処置の決定権を持つ。また、選手から裁量を求められたときの決定権を持つ。
18. 審判員は、不正を行った対局者に罰則として持ち時間減や反則負けを宣告できる。また、円滑で公正な大会運営を妨げる人物に注意、警告を与え、退場を命じることができる。
19. 審判員の最終決定は何よりも優先される。
20. 審判員は、当事者間及び他の参加者との間に、著しい不均衡を生じさせないとともに、大会全体の進行にも配慮して判定を行わなければならない。

#### その他禁止事項およびマナー等

21. 選手・見学者を問わず、対局中の選手に対する助言は禁止する。
22. 石の片付けは、記録が終了してから行うこと。
23. 選手は円滑な競技の運営に協力し、試合終了後はすみやかに対戦カードを提出すること。
24. 選手は、自分以外の特定の選手の上位進出を手伝う、あるいは阻む目的で、故意に負けたりする行為は慎むこと。
25. 時計の不備に気付いた場合は直ちに審判員に申告するものとし、故意に無視してはならない。時計の修正・変更は審判員の指示に従うものとする。
26. 大会中、会場内ではスマートフォン等はマナーモード等、音が鳴らないようにしておくこと。
27. 試合中の写真、ビデオ等の撮影に当たっては、事前に審判員及び当事者の了解を得ること。また、フラッシュ、ストロボ等を発光させないこと。